

(様式1)

令和5年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県空港スポーツ緑地 都市計画課

2 施設所在地
富山市秋ヶ島

3 施設設置年度
昭和62 年度

4 設置目的
航空機の離発着の騒音を緩和するとともに、県民誰もがスポーツや様々なレクリエーションを楽しめることを目的として、昭和62年に開園した緩衝緑地

5 施設概要
敷地面積：13.2ha
主な施設
・陸上競技場：16,746㎡ 400mトラック8コース、インフィールド芝生舗装
・テニスコート：砂入り人工芝コート 6面
・ゲートボール広場：4面(3月28日インクルーシブひろばの供用開始に合わせて廃止)
・展望広場、芝生広場等

6 指定管理者
株式会社野上緑化

7 指定期間
3 年
令和5年4月1日 ~ 令和8年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数(人) ※この他、参考となる指標があれば追加

R1	R2	R3	R4	R5
85,629	67,672	68,332	82,759	87,461

(2) 利用(使用)料金収入(千円)

R1	R2	R3	R4	R5
4,233	3,289	3,455	4,204	4,242

(3) 利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

R1	R2	R3	R4	R5
4,164	4,202	4,202	4,202	4,202

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・利用者数は令和4年度比105.7% (4,702人増)、有料公園施設利用料は令和4年度比100.9% (38千円増)であった。
・インクルーシブひろばの供用開始により、公園全体の利用者数は増加した。今後も行きづらさを感じている保護者の心理的且つ物理的障壁の除去に努め、多様な子どもの利用を促したい。
・陸上競技場では、予約のキャンセルが多く、利用者数が減少した。利用者のマナー向上に努め、キャンセルが多い利用者には予約制限を設ける等の対応を検討したい。

(2) サービス向上に向けた取組み

・利用者のニーズに合わせて、供用日の追加、供用時間の延長を行った。
・展望広場に回転式遊具を設置し、子どもの遊び場を提供した。
・氷菓や冷凍飲料の販売、ミスト発生機の設置を行い、夏期の利便性向上を図った。
・令和5年度より、インクルーシブひろばの利用促進を図るため、地域住民や教育福祉関係者を招集した会議を開催し、課題改善策や利用促進策について検討した。
・令和5年度より、公園ホームページにインクルーシブひろばの特設ページを開設し、来園に心理的な負担や不安を感じている方に、詳細な施設情報を提供した。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

・有料公園施設の利用料金徴収にキャッシュレス決済を導入している。
・平成26年度から有料公園施設のウェブ予約を運用し、予約の簡易化、リアルタイムな空き状況の確認による利用促進を図った。
・テニスコートのポイントカードを配布し、リピーターの確保に努めている。平日17時までの利用又はとやま子育て応援団マークの提示で、ポイント2倍とした。
・陸上競技場インフィールドの芝の通年緑化に取組み、サッカー等の利用期間を延長した。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	①インクルーシブひろば利用者アンケート（6月、7月） ②公園利用者モニター（12月、3月） ③イベント参加者アンケート（9月、10月、11月、3月）
回答者数	①207名、②37名、③90名
結果	①14%の方がインクルーシブひろばで困ったことがあると回答した。遊具や自動販売機の増設を求める意見があった。また障害への理解や気兼ねなく遊べる時間枠を求める意見があった。 ②公園を利用しているの評価：満足（73%）、やや満足（24%） 遊具や駐車場の増設を求める意見があった。 ③イベントは高評価が多く、低評価は一件もなかった。
結果を踏まえた改善事項	インクルーシブひろばにおいて、安心して遊べる時間帯を設けるため、スタッフが常駐してサポートする特別な日を用意した。また障害理解普及のため、ヘルプマークシールの製作配布を行った。

② その他利用者の声を反映させる取組み

・地域住民、利用団体、協働団体の代表者及び富山県総合体育センター指定管理者による運営評価会議を開催した。
・意見投書箱を設置している。

③主な苦情と対応

管理事務所前の公道に車両の路上駐車がが多い。⇒駐車場への案内看板を2基設置し、利用者へ周知を図った。

(5) 個人情報保護の取組み

・個人情報に関するプライバシーポリシーを定め、職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6) 関係団体との連携

・地域の放課後等デイサービスを利用する児童を対象とした「富山県放デイゆるゆる大運動会」を実施した。
・地域の低額有償ボランティア「新保花組」と協働し、花壇植替え作業を実施した。
・地域の放課後児童クラブ「新保こども会」と協働し、鯉のぼりを展示した。
・障がい者就労継続支援事業所「NPO法人すずかぜ工房」と協働し、公園管理作業を通じた自立支援活動を実施した。
・障がい者就労移行支援事業所「ヴィスト株式会社」と協働し、公園維持管理作業を行う就労訓練を実施した。また、トイレ清掃委託により就労の場を提供した。
・インクルーシブひろばにおいて、地域町内会や近隣団体と防災イベントを実施した。

(7) 施設・設備の維持管理

適切に維持管理を行っている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

非常時の緊急連絡網、非常管理マニュアルの作成、夜間パトロール、強風大雨後の臨時パトロールなど、適切に危機管理・安全管理に取り組んでいる。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	6
無	-
無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

-

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

・インクルーシブひろば供用開始に伴い、ひろばの利用促進を図るため、福祉事業者などと連携した「インクルーシブDAY」を開催し、関係団体とのネットワークの充実や、公園に行きづらさを感じている保護者の心理的負担軽減、多様な子どもの利用を促している。
・公園ホームページにインクルーシブひろば特設ページを開設するなど、利用者サービスの向上に努めている。
・引き続き、日常の維持管理に努めるとともに、利用促進やサービス向上に向けた一層の取組みを期待したい。